

木部

公共仕様No.  
DNT-改修・12-2-04

7章12節：ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)  
VトップクリヤーDX

使用材料一覧表

規格 一般名称		商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1	JASS 18 M-502 2液形ポリウレタンワニス	VトップクリヤーDX	F☆☆☆☆	Vトップシンナー

塗装仕様

表7.2.1 木部の下地調整【RA種】

工程		塗料その他			面の処理
		規格番号	規格名称	種類	
1	既存塗膜の除去	—			スクレーパー、研磨紙等により、全面除去する。
2	汚れ、付着物除去	—			木部を傷つけないように除去し、油類は、溶剤等でふき取る。
3	研磨紙ざり	研磨紙P120～220			露出素地面、既存塗膜面を研磨する。
4	節止め	JASS 18 M-304	木部下塗り用調合ペイント	合成樹脂	節及びその周囲にはけ塗りを行う。
		セラックニス			
5	穴埋め	JIS K 5669	合成樹脂エマルションパテ	耐水形	割れ、穴、隙間、くぼみ等に充填する。
6	研磨紙ざり	研磨紙P120～220			穴埋め乾燥後、全面を平らに研磨する。

(注) 1.木部に新規に塗装を行う場合は、RA種(不透明塗料塗りの場合)又はRB種(透明塗料塗りの場合)とし、工程1を省略し、工程2と3の間にやに処理を行う。  
2.やに処理の面の処理は、やにを、削り取り又は電気こて焼きのうえ、溶剤等でふき取る。  
3.ラワン、しおじ等導管の深いものの場合、必要に応じて、工程2ののちに塗料製造所の指定する目止め処理を行う。  
4.合成樹脂エマルションパテは、外部に用いない。  
5.JASS18 M-304は、日本建築学会材料規格である。  
5.工程4 節止めにおいて、JASS18 M-304は合成樹脂調合ペイント及び水性系ペイントに適用し、それ以外はセラックニスとする。

表7.12.1 ウレタン樹脂ワニス塗り【B種】

工程		商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)
1	下塗り	Vトップ クリヤーDX	クリヤー	主剤80: 硬化剤20	5～10	刷毛 ローラー	0.06	12時間以上 3日以内
					30～50	スプレー		
2	研磨紙ざり	研磨紙P220～240						清掃後
3	上塗り	Vトップ クリヤーDX	クリヤー	主剤80: 硬化剤20	5～10	刷毛 ローラー	0.06	—
					30～50	スプレー		

(注) 1.一般木部及びフローリングは、1液形とする。  
2.JASS 18 M-502は、日本建築学会材料規格である。

7.2.2 木部の下地調整

- (a)木部の下地調整は表7.2.1により、種別は特記による。特記がなければ、RB種とする。  
(b)透明塗料塗りの下地調整は、RB種による。ただし、既存塗膜は全面除去する。また、必要に応じて、表7.2.1の工程を行ったのち、次の工程を行う。  
(1)着色顔料を用いて着色兼用目止めをする場合は、はけ、へら等を用いて、着色顔料が塗面の木目に十分充填するように塗り付け、へら、乾いた布等で、色が均一になるように余分な顔料をきれいにふき取る。  
(2)着色剤を用いて着色する場合は、はけ等で色むらの出ないように塗り、塗り面の状態を見計らい、乾いた布でふき取って、色が均一になるようにする。  
(3)素地面に、仕上げに支障のあるおそれがある基だしい色むら、汚れ、変色等がある場合は、漂白剤等を用いて修正したのち、水ぶき等により漂白剤を除去し、十分乾燥させる。

7.12.2 ウレタン樹脂ワニス塗り

ウレタン樹脂ワニス塗りは表7.12.1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

注意事項

- \* 上記塗付け量は国土交通省「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成25年版」に掲載されている数値です。  
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。  
\* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。